

維新PRESS



発行元 維新の党

党本部
〒542-0082 大阪府大阪市中央区島之内1-17-16
三栄長堀ビル
TEL: 06-4963-8800 FAX: 06-4963-8801
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-9-6
十全ビル101
TEL: 03-3595-7801 FAX: 03-3595-7802

号外 < 埼玉県第10選挙区支部 特集号 >

身を切る改革の断行を！

維新の党埼玉県第10区支部長

坂本ゆうのすけ氏に聞く！

維新の党にて活躍する埼玉県第10選挙区支部長の坂本ゆうのすけ氏に我が国の現状と課題に対する認識を聞きました。

坂本支部長の我が国の現状に対する基本的な認識をお聞かせください。

坂本氏 経済・社会の成熟化・少子高齢化・グローバル化など、今日の我が国を取り巻く環境は大きく変化しているのにも関わらず、政治や行政、財政な

どの我が国の基本的な仕組みや構造は変わっていません。改革を妨げる既得権益やしがらみを断ち切って、国の新陳代謝を図り、古くなった仕組みや構造を現在の経済・社会に合わせて改革していくことが必要であり、維新の党の使命でもあると考えます。

我が国が今後発展していくために具体的にはどうすべきとお考えですか。

子育て・教育政策の充実と原発からの脱却を！

坂本氏 まず是我々自身身を切る改革を断行する。そして、行政改革を推進することです。

安倍総理は前回の衆院選の際に当時の野田総理と解散の条件として国会議員の定数削減を約束されました。しかし、その約束はいまだに果たされていません。我々は党として国会議員定数3割削減を訴えており、消費増税も議論になっていいますが、国民の皆様にご負担をお願いする前に、まず我々国会議員自身が身を切る姿勢をお示しするのは当然です。

また、我が国の将来を担う子どもたちの健やかな成長こそ、重要であると考えます。そのためにも子育て・教育政策をより一層充実させるべきと考えます。さらに、原発政策については、原発から脱却し、再生可能エネルギーへのシフトを強力に進めるべきと考えます。

現在、「地方創生」について議論されていますが、市長出身の坂本支部長の見解をお伺いします。

坂本氏 政府は現在の中央集権体制のもとで地方の主体性を維持したまま、地方創生を進めようとしていますが、私は市長経験から地方自治体に権限や財源が移譲され、国と地方が対等な関係にならない限り、地方創生はできないと考えています。地方創生は地



▶ インタビューに答える坂本氏。



▶ 衆院予算委員会にて安倍総理にただす坂本氏。



▲ 衆院本会議にて登壇し、討論する坂本氏。



坂本ゆうのすけ氏 プロフィール

<学歴> 東松山市立松山第一小学校・松山中学校・埼玉県立松山高等学校・日本大学文理学部卒
<経歴> 元東松山市長(4期16年)、日本スポーツ少年団本部長、全日本スキー連盟副会長、埼玉県体育協会名誉会長、東松山市体育協会会長、武蔵丘短期大学客員教授
<政党> 前筆頭副幹事長、道州経済部会長、埼玉県総支部代表
<衆議院> 前憲法審査会委員、前青少年問題に関する特別委員会理事
予算委員会委員、農林水産委員会委員

党员募集中！

お問い合わせ

維新の党衆議院埼玉県第10選挙区支部
埼玉県東松山市材木町20-9
TEL: 0493-22-3682 FAX: 0493-81-3386

維新の党 綱領

統治機構改革で「この国のかたち」を変える

日本は今、経済のグローバル化と大競争時代の荒波の中で、新陳代謝が遅れ、国力が停滞あるいは弱体化し、国民は多くの不安を抱えている。

我が国が、この閉塞感から脱却し、国民の安全、生活の豊かさ、伝統的な価値や文化などの国益を守り、かつ、国の将来を切り拓いていくためには、より効率的で自律分散型の統治機構を確立することが急務である。なぜなら、欧米に追い付け追い越せの時代には有効とされた「中央集権」「官僚主導」「護送船団方式」等の国家運営方針が、成熟国家・日本の羅針盤たりえなくなってきたからだ。

「自治・分権」「自立」「民権」を基本理念とする

維新の党は、我が国の旧き良き伝統は守りながらも「因習」「既得権益」は打破し、豊かな自然と歴史・文化の源である地域を育み、多様な価値観を認め合う公正で開かれた社会を構築する。

国からの上意下達に依ることなく、地域、そして個人が自立できる社会システムを確立し、地域、個人の創意工夫、民間の自由な競争によって経済と社会を活性化する。

「官治・集権」から「自治・分権」、「官権」から「民権」へと国家運営を転換し、規制の壁を打ち破り、「自立する国家」「自立する地域」「自立する個人」を実現する。

法と秩序に基いた現実的な外交・安全保障政策を展開する

維新の党は、我が国が国際社会において名誉ある地位を占めたいと願う。自国の防衛を万全なものとするとともに、世界に覇を求めず、「法の支配」「自由と民主主義」等の価値を共有する諸国と連帯し、平和の増進に貢献する。また、持てる人材と技術（技術基盤と技術革新力）を駆使し、文明の発展と世界の繁栄に寄与する。

「保守vsリベラル」を超えて改革勢力を結集する

日本再生のため、維新の党は、我が国が抱える根源的な問題の解決に取り組む。「保守vsリベラル」を超えた政治を目標とするが、それは、内政、外交ともに、政策ごとにイデオロギーではなく国益と国民本位に合理的に判断することにより可能となる。課題を次世代に先送りせず、将来に向けた持続可能な制度・仕組みを構築する。

そのために維新の党は、政治理念や基本政策の一致を前提に、改革勢力を結集し、政権担当可能な一大勢力の形成を目指す。